

2017 第71回
読書週間
 10/27(金)~11/9(木) 14日間

本に恋する季節です!

10月27日は、多言語活字文化の日
 主催：読書週間実行委員会
 協賛：読書週間実行委員会
 協賛：読書週間実行委員会

本に恋する季節です!

今年(こゝし)の秋(あき)の読書週間(よみかみ週間)は、10月27日(金)から11月9日(木)の二週間(にしゅうかん)です。『恋(こい)はするもの(もの)じゃなく、おちるもの(もの)だ』と『東京タワー(とうきょうタワー)』(著(あ)：江國香織(えくにかおり) 発行(はつしゆ)：マガジンハウス)にあります(あ)りますが、今年(こゝし)の読書週間(よみかみ週間)で、そんな本(ほん)に出会(であ)えるかも(かも)しれません(せん)ね。ぜひ(ぜひ)本(ほん)を借(か)りて読(よ)んでみ(み)ましよう(よう)。

ぶんかひ 文化の日 = マンガの日?

『読書週間』は、文化の日(11月3日)を中心にした2週間です。そして、『文化の日』は『マンガの日』でもあります。外国では『cool Japan』(カッコいい日本)として、すっかり日本の文化となった「マンガ」。ふだん悪者にされがちな「マンガ」は、どのようにしてできたのでしょうか?

マンガの始まりはよくわかっていませんが、平安時代の絵巻物『鳥獣人物戯画』が最古のマンガではないか、とされています。そして江戸時代の葛飾北斎の『北斎漫画』、戦後の手塚治虫と、マンガの歴史は続いてきました。今のマンガ・アニメの発展は、手塚治虫なくしてはなりません。『鉄腕アトム』『ブラックジャック』など、とてもたくさん(たくさん)の作品を描いた人で、1989年(平成元年)に60歳で亡くなるまで、約700作もの作品を描きました。周りの人たちから「マンガの神様」と呼ばれていました。



てづかおさむ 手塚治虫ってどんな人?

手塚治虫はチョコレートが大好きで、マンガを描いている時は手放せなかったそうです。当時高校生だった松本零士がアシスタントに行ったとき、『チョコがないと描けない!』と編集者に訴えていたとか。また、2014年に25年ぶりに開いたという手塚治虫の机の引き出しの中からも、食べかけのチョコレートが出てきました。チョコレートが大好きだなんて、ちょっと子どもみたいでおもしろいエピソードですね。



今回のおしらせ

● 秋の読書週間
 ● マンガの名言

こころ

めいげん

心にひびくマンガの名言

図書室になかなかないマンガ。図書室においていないものでも、おすすめのマンガはいっぱいあります。本を読むのが苦手な人でも、「マンガなら大好き！」という人は多いと思います。そんなマンガから、名言（なるほどと思うような、すぐれた言葉）を集めた本があります。それは、学研から出ている【心にひびくマンガの名言】シリーズです。この本は、いろいろなマンガから名言を紹介しています。その中から、いくつか名言を紹介したいと思います。もしかしたら、みなさんも知っている名言があるかもしれませんね。



『1巻 心が強くなる』 40 ページより

なにができない なんてのは たいしたことねえぞ

なにができるのか なんだ 『ほのほの』 (作：いがらしみきお 発行：竹書房)

なかなかうまく木に登れないラッコのほのほのに、友だちのアライグマくんのお父さんがやってきて、ほのほのに言ったセリフです。苦手なことを努力するのは良いことですが、できないことばかりを考えると落ち込むより、できることに目をむけるのも大事ですね。



『3巻 気持ちがラクになる』 34 ページより

迷った時はね、「どっちが正しいか」なんて考えちゃダメよ

「どっちが楽しいか」で決めなさい 『宇宙兄弟』 (作：小山宙哉 発行：講談社)

主人公の六太は宇宙飛行士の試験を一緒に受けた仲間の中から、合格者を自分たちで選ぶこととなりますが、だれを合格させるのが正しいのか、とても悩みます。そのとき六太は、お世話になった人の、この言葉を思い出すのです。みなさんも、ふだん「ほめられる方はどっちか?」「怒られない方はどっちか?」なんて考えたこと、ありませんか?悩んだときは、楽しい方を選ぶと、ワクワクしてきますね!

編集後記

『心にひびくマンガの名言』の中には、「本当にこれでいいの?」と思うものもあります。たとえば、3巻40ページの『遊んでいいわけねーじゃん!でも遊ぼうぜ!』(出典『あずまんが大王』 作:あずまきよひこ 発行:KADOKAWA)も、その一つ。受験を控えた夏休み、海に来たのはいいけれど、勉強しなくていいのか気になっていたときのセリフです。やるべきことをきちんとやったあとなら、勉強を気にしないで思いっきり遊べますね。

